

「大間まぐろ」ブランドを活用した地域創生

Yプロジェクト株式会社（青森県）

～町ぐるみで「大間まぐろ」ブランドを地域の産業・雇用創出に活かすための取り組み～

1. 相談のきっかけ

- ・大間町の地域ブランド「大間まぐろ」は全国的に有名。
- ・地域おこしグループ「あおぞら組」（島康子組長）の活動は全国でもよく知られている。
- ・ところが、大間町にはまぐろに関わる産業が育っていない（町に雇用や利益がもたらされていない）。
- ・「あおぞら組」の営利事業を会社化、拡大したいとの創業相談。
- ・町や関係団体とも連携して産業・雇用創出のしくみをつくりたい。

2. 課題整理・分析

- ・営利事業を行うための新会社のYプロジェクト(株)は平成25年に設立済だが、本格的な企業活動は行っていない。
- ・相談対応した課題は下記の通り。
 - ①事業内容の整理
 - ②あおぞら組との役割分担
 - ③地域のしくみづくり

3. 解決策の提案

- ①事業内容の整理
 - 1) あおぞら組からの移管
- ・Tシャツ等の土産品の企画・販売
- ・代表、デザイナーの講演・コンサルティング活動
- 2) 新規事業
 - ・観光業（新規に免許取得）
- ②あおぞら組との役割分担
 - ・あおぞら組はNPO化して非営利活動を継続。
 - ・寄付金が得られるしくみづくり。
 - ・代表後継者の育成。
- ③地域のしくみづくり
 - ・町役場中心の、町ぐるみでの地方創生のための活動提案（産業・雇用創出）。



4. 成果

1) Yプロジェクトの事業開始

- ・Yプロジェクトは企業としての活動を開始（あおぞら組・島康子組長が代表取締役役に就任）。
- ・創業時の事業内容を、①観光業、②土産品の企画・販売、③コンサルティング活動の3点と設定。
- ・島代表は「国内旅行業務取扱管理者」を取得。地域の観光ガイド業などを事業化の計画。

2) 町ぐるみの取り組み促進

- ・大間町長に、Yプロジェクトから町ぐるみでの「大間まぐろ」ブランドを活かした産業・雇用創出の取り組みを提案。
- ・10/25(土)に開催された「2014大間超マグロまつり」会場にて町長が「大間まぐろ町」を宣言。宣言文には「大間まぐろを町の産業・雇用創出に活かす」ことが盛り込まれた。
- ・今後は「大間まぐろ町会議」が発足（町役場、商工会、観光協会、JF（漁業協同組合）、町内事業者等）、「大間まぐろ」のブランド拡大、産業・雇用創出のための様々なしくみづくりについて議論が始まる予定。
- ・Yプロジェクトは町の事業者の核、リーダーとして事業展開を図ることとした。

